

<胃がん地域連携パス 改訂版の変更点について>

胃がん術後地域連携パスについて、胃癌取り扱い規約の更新、及び診療実態に合わせて、以下の点について変更・改訂します。

1) 【2-1 胃がんパス（術後）説明文（医療者用）】

【2-2 胃がんパス（術後）計画書（医療者用）】の変更点

- ◆【胃がんの進行度】 進行度分類を胃癌取り扱い規約第 15 版に準拠するよう修正
- ◆ 術後補助化学療法 対象範囲を修正
 - 進行度分類表 推奨される範囲の色分けを修正
 - ステージⅡ～Ⅲ 計画書 対象外の範囲を追記
- ◆ 術後補助化学療法 掲載薬剤を更新
 - 経口抗がん剤と併用する注射剤の組み合わせ毎にスケジュール欄を作成

2) 【2-4 胃がんパス（術後）連携ノート】の変更点

- ◆ 5ページ【胃がんの進行度】を上記 1) の修正に応じて修正
- ◆ 同ページ 進行度分類表下部 術後補助化学療法についての注釈を修正
- ◆ 7ページ【術後治療・検査の要約】ステージⅡ～Ⅲの要約文を修正
- ◆ 10～11 ページ【胃がん治療に関する連携計画書】
抗がん剤治療のスケジュール欄を上記 1) の修正に応じて修正

3) 補足

- ◆ パスの見やすさ、使いやすさについて
 - 医療者用パスを連携計画書とその他説明文に分離
 - 術後パス、ESD パスの区別を明確化（パス名明記・連携ノート表紙の色変更）
 - 各ひな型中の平成を令和に変更
- ◆ ESD パスの改訂について 令和 6 年度対応予定

以上